

14. 自己資本の状況

Q 自己資本比率の状況

当組合では、多様化するリスクに対応するとともに組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の最重要課題として取り組んでまいりました。

28年度は第8次中期3カ年経営計画を策定し、JA自己改革の実践、単年度計画の達成、不良債権の発生防止、業務の効率化並びに内部留保等に向け事業を展開しました。

特に中期計画の全体戦略である「食彩館プレミアムポイントカード」の導入を図り、事業の伸長に取り組んだ結果、新たな減損損失処理の発生もありましたが、当期剰余金は412,313千円の黒字計上となり、平成29年2月28日現在における自己資本比率は、11.36%で終了することができました。

また、財務基盤強化のため、自己資本増強に取り組んでおり、平成28年度末の自己資本額は、対前年比142百万円増の35億円余となっています。